

平成28年度第12回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日時：平成29年2月20日（月）10時00分～10時50分

場所：熊本県立大学大会議室

出席：学長	半藤 英明
副学長	津曲 隆
事務局長	仁木 徳子
文学部長	砂野 幸稔
環境共生学部長	松添 直隆
総合管理学部長	黄 在南
地域連携・研究推進センター長	堤 裕昭
学術情報メディアセンター長	村尾 治彦
文学研究課長	鈴木 元（オブザーバー）
環境共生学研究科長	北原 昭男（オブザーバー）
TKU みんなのニュース解説委員/熊日調査役	平野 有益
熊本県公立高等学校長会長	川上 修治

事務局：本田事務局次長、多田隈教務入試課長、坂本学生支援課長、前田総務課長、花村企画調整室長、安達学術情報メディアセンター事務長、教務入試課築地班長、同課福永班長、同課松本参事

1 開会（進行：本田次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：半藤学長）

（1）審議事項

① 平成29年度入学者選抜における合格者の決定について

1) 大学院文学研究科春季募集

事務局教務入試課から、資料1-1に基づき、「文学研究科は、2月4日に試験を実施し、2月7日の研究科委員会で審議を行った。志願状況は、日本語日本文学専攻博士前期課程は、春季募集2名に対して、1名が志願、受験した。英語英米文学専攻博士前期課程は、春季募集2名に対して、1名が志願、受験した。日本語日本文学専攻博士後期課程は、春季募集1名に対して、1名が志願、受験した。」との説明があった。

続いて、文学研究科長から、資料1-2に基づき、「日本語日本文学専攻博士前期課程について、一般選抜に志願、受験した1名は基準点を上回っているため合格としたい。英語英米文学専攻博士前期課程について、一般選抜に志願、受験した1名は基準点に達していないため不合格としたい。日本語日本文学専攻博士後期課程は、志願、受験した1名について、基準点を上回っているため合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

2) 大学院環境共生学研究科春季募集

事務局教務入試課から、資料1-3に基づき、「環境共生学研究科は、博士前期課程が2月4日、博士後期課程が2月11日に試験を実施し、2月14日の研究科委員会で審議を行った。志願状況は、博士前期課程は、春季募集若干名に対して、4名が志願、受験した。博士後期課程は、春季募集3名に対して、2名が志願し、1名が受験した。」との説明があった。

続いて、環境共生学研究科長から、資料1-4に基づき、「博士前期課程については、基準点を上回っている一般選抜に志願、受験した3名と社会人特別選抜に志願、受験した1名の合わせて4名を合格としたい。博士後期課程については、志願、受験した1名について、基準点を上回っているので合格としたい。」との説明があった。審議の結果、案のとおり承認した。

3) 大学院アドミニストレーション研究科春季募集

事務局教務入試課から、資料1-5に基づき、「アドミニストレーション研究科は、2月4日に試験を実施し、2月9日の研究科委員会で審議を行った。志願状況は、博士前期課程は、秋季・春季合わせて募集20名に対して、今回7名が志願、受験した。博士後期課程は、秋季・春季合わせて募集4名に対して、今回1名が志願、受験した。」との説明があった。

続いて、アドミニストレーション研究科長を代理して総合管理学部長から、資料1-6に基づき、「博士前期課程については、基準点を上回っている一般選抜に志願、受験した1名と社会人選抜に志願、受験した6名の合わせて7名を合格としたい。博士後期課程については、志願、受験した1名について、基準点を上回っているので合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

② 教員の採用に係る枠取りについて

事務局総務課から、資料2に基づき、「平成30年度の教員採用について、文学部及び総合管理学部より各1件の枠取り申請があるので審議をお願いしたい。」との説明があった。

1) 英語文学

文学部長から、資料2-1に基づき、「枠取りの理由は転出教員の補充である。アメリカ文学担当の後任人事として、アメリカ文学を中心に、広く英語圏の文学研究にも対応できる英語文学を専門とする教員の採用をお願いしたい。英語英米文学科ではアメリカ文学、イギリス文学、英語学の3つの柱で教育を行っていたが、第2期中期計画期以降、現在の社会状況及び学生の志望にあわせ、英語教育分野や英語運用能力を向上させる教育を行うためにアメリカ文学・文化、異文化コミュニケーション等の人事計画を立ててきた。来年度着任予定のイギリス文学人事に加え、今回の枠取り人事により、文学界の動向に合わせたカリキュラムを現カリキュラムに組み込みつつ、学部の卒論指導体制や科目の維持等を図りたい。出来れば大学院博士前期課程の講義が可能である者で英語運用能力の高い方を求める。採用予定は平成30年4月1日とし、准教授または講師としての採用を希望する。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

2) 看護学

総合管理学部長から、資料2-2に基づき、「枠取りの理由は定年教員の補充である。看護管理学は学際的・総合的なアプローチである総合管理学を看護の側面から構築・展開する学問的営為である。現下では、看護管理のあり方が健康管理や看護サービスの質の保障、効率的な組織の運営などに大きな影響を及ぼすことが実証されており、特に、組織、経営などに対する総合的な管理能力の向上に向けた教育内容の強化が求められている。そのため、本学大学院看護科目の開講が必要不可欠であり、現在、博士前期課程の在籍31名中、20名が看護管理コースであることから、担当者の補充により、社会ニーズ及び高度な看護管理能力を身につけたい学生の希望に応えることができる。前任者は平成30年度まで在職予定であるが、退職1年前には院生を募集することができないので、採用予定は1年前倒しの平成30年4月1日とし、教授または准教授としての採用を希望する。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

③ 総合管理学部情報管理コース長の選考（案）について

事務局総務課から、資料3に基づき、「現、総合管理学部情報管理コース長から長期出張研修の理由によるコース長辞任の申し出があったことから、本学総合管理学部コース長選考規程に基づき、宮園博光アドミニストレーション研究科長を兼務として選考する。任期は前任者の残任期間である平成29年4月1日から平成30年3月31日までである。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

④ 平成29年度非常勤講師の採用について

事務局教務入試課から、資料4に基づき、「平成29年度非常勤講師の採用について、各学部及び研究科から推薦があったので審議をお願いします。今回は、審議をいただくのは40科目の講師である。これまでに御審議をお願いした講師と合わせると、159名、334科目になる。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

(2) 報告事項

① 平成29年度一般入試の出願状況について

事務局教務入試課から、資料5に基づき、「平成29年度一般入試について、1月23日から2月1日まで出願の受付を行い、志願者が確定した。志願状況は、合計で1,998名の志願があり、前年度より119名増加。各学科の状況としては、環境共生学部の食健康科学科と総合管理学部が増加、その他の学科はすべて減少。傾向としては、反動の大小はあるが、昨年度志願者が増加した学科はすべて減少、昨年度減少した学科はすべて増加している。参考であるが、県外生の割合は平成29年度38.9%で、前年度とほとんど変わらない割合である。」との報告があった。

② キャリアセンター長の指名について

事務局総務課から、資料6に基づき、「現、キャリアセンター長からの一身上の都合によるセンター長辞任の申し出があったことから、本学キャリアセンター運営要項に基づき、新たに津曲隆副学長を兼務として指名した。任期は前任者の残任期間である平成29年4月1日から平成30年3月31日までである。」との報告があった。

(3) その他 意見交換

4 その他

次回日程 平成28年度第13回3月5日(日)午前11時～本部棟2階大会議室

5 閉会